

## 課題調査部会で出された意見の整理と取組について

資料2

分類	内容	取組のアイディア	条件	取組(案)
魅力を活かした地域住民の交流に関する意見	中原区の歴史や文化財などを学び、また行事などを親子で楽しめるような冊子、紙芝居などをつくり、区内の小中学校やこども文化センター等に置いたらどうか。	区の魅力を伝える紙芝居をつくったらどうか	市民(市民活動団体)が主体もしくは、市民と行政が協働で取組む交流方法を検討する。	魅力発見ワークショップの開催 区民が集まって中原区の魅力について話し合うワークショップを開催する。
	中原区の魅力資源を表した「なかはらかるた」を作成し、区内的学校やこども文化センターで活用してもらったらどうか。なかはらかるたの大判を作成し、大会を開催するのが良いと思う。	区の魅力を描いたカルタをつくったらどうか		カルタ・紙芝居の作成 子どもやその親などを含め、多くの人が楽しめる中原区の魅力を伝える紙芝居やカルタを作成する。
	寺社を巡るコースや散策コースを記しているマップがあると良い。	史跡等を巡るマップがあると良い		なかはらブランドの制定 区内でつくられているものを「なかはらブランド」として位置づけ、区民に広くPRする。
	中原区の魅力を紹介する動画があると良い。パソコンやスマートフォンや公共施設等でいつでも見られるようにする。	区の魅力を紹介する動画があると良い		中原区のものづくりの体験・PR 中原区のものづくりの技術を知ってもらうために、学校の生徒や親子で楽しめる中原区のものづくりの体験やPRを行う。
	中原区のものづくりについて、親子で知ることや体験ができるような機会をつくる。	中原区のものづくりを知つてもらう機会が必要である		魅力案内ガイド育成講座の開催 区の魅力を案内するボランティアガイドを養成する講座を開催する。
	時間に余裕が出来た人たちにボランティアガイドになってもらい、区の魅力を案内してもらうことが良いと思う。	ボランティアガイドがあると便利である		
	新しく区民になられた人たちも含め、区の魅力を通じた交流を図りたい。	魅力を通じた地域住民の交流が必要である		
	歴史的資源だけでなく、それにまつわる商品も区の魅力としてPRするべきだと思う。	中原区に由来がある商品も魅力資源とする		
	区内の学校になかはらの歌をで取り上げてもらい、区民になじみのあるものにする。	なかはらの歌などすでにある地元の歌を知つてもらうことが必要である		
	チラシなどは、もっと一般の方が目につくようなところに置いた方が良い。 ホームページが更新されたら知らせるような仕組みがあれば良い。 区内の魅力についての情報が届く仕組みが必要である。	情報が多くの人目のにつく場所に置くホームページの更新情報を知らせる仕組みが必要である		なかはらメディアネットワークとの意見交換 区の魅力の効果的な情報発信方法について、なかはらメディアネットワークと意見交換を行う。
情報発信に関する意見	企業や団体と一緒にやって行うと有効なときもある。たとえば、等々力競技場で川崎フロンターレの試合と合わせて行うなど。	大規模なイベントや企業、団体の活動と連携してPRする	有効な情報発信の方法を検討する。	なかはらメディアネットワーク 情報コーナーの活用 効果的な情報発信方法を検討するとともに、情報発信拠点を拡充するため多くの人が目につく場所に情報コーナーを設置する。
	区の歴史や文化に関連するものを「開運なんでも鑑定団」のようなマスコミに投げかけたらどうか。	マスコミを活用する		
	中原区では、魅力資源で交流する活動はいろいろやっているが、区民に伝わっていないので、どう伝えるかということが課題だと思う。	団体の活動を知る機会をつくる		
	中原区の魅力のPRにメディアネットワークを活用する。また効果的な活用方法を検討する必要がある。	メディアネットワークを活用する		メールマガジンの発行 区役所から配信されるメールマガジンに区の魅力や市民活動に関する情報を載せる。